

OpenMXとDFT: Agenda①

- 本講義の対象者
- OpenMXの概要
- 開発・公開の経緯
- 開発・公開の意図
- 応用事例
- DFTソフトウェアの開発状況
- ソフトウェア公開のレベル
- de facto standardソフトウェアの条件
- プログラム開発において留意していること
- プログラムの全体構造
- デバッグの方法
- 安定性向上へのいくつかの工夫
- プログラム実装の品質テスト

OpenMXとDFT: Agenda②

- プログラム公開の際の心構え
- 公開は英語で
- マニュアル作成時に留意していること
- リリースの実際
- ユーザービリティ向上への工夫
- ユーザーサポートの実際
- ワークショップ・講習会の開催
- 共同開発におけるポリシー
- 共同開発の実際
- プログラムの保守管理
- 将来の発展へ向けたいくつの展望
- ソフトウェア開発は長期戦
- ソフトウェアを育てるために